

～花と緑の香りめぐり(12)～

春の香りを求めて、 井の頭恩賜公園に行ってきました。



沈丁花がお出迎え

井の頭恩賜公園は、JR中央線・吉祥寺駅から歩いて5分ほどです。七井橋通りの入口から階段を降りると、手すりにそって沈丁花が咲いていました。

2月下旬のこの日はまだ五分咲き程度でしたが、横に立つだけでいい香りが漂ってきます。

敬遠されるほど、素晴らしい香り

顔を寄せると、頭のなかで甘酸っぱい香りであふれました。沈丁花はフローラルな香りがメインですが、ツンとする爽やかさも感じられ、とっても華やか。

お茶やお花の世界では、香りが強いせいで、敬遠されてしまうと聞いたことがあります。



梅林に近づくと、ほのかに香ります

梅林はゆるやかな丘になっていて、計90本の白梅や紅梅があちこちに植えられています。見上げると、青空に白とピンクが映えて、まるで絵のようです。

梅の花に顔を近づけても香りは感じられませんが、風が吹くとやさしい甘さが漂いました。

水仙も、まだまだ花盛り

「緑の小道」に、日本水仙の花壇があります。こっくりした甘さとともに、爽やかな香りが感じられました。

湧き水の近くには、真っ白のペーパーホワイトが咲いています。こちらは、トイレのにおいに例えられる不思議な香りの水仙です。



これからが楽しみなコブシ

野外ステージの向かいのコブシは、いづらか開花していましたが、今のところツボミが多勢。花も小枝も甘い柑橘系の香りをするそうですが、この日は確認することができませんでした。本格的な花期は3～4月ということですから、また訪ねようと思います。

マスク着用をお願い

新型コロナウイルス感染予防のため、店内ではマスクをお付けくださいますようお願い致します。

施術者も、ご来店からお帰りまでマスクを着用致します。

ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

おすすめアロマグッズ No.89



かゆらぎ 沈香(日本香堂)

香木・沈香の香りをするお線香です。14cm長さ40本入り。

火を灯すと、かすかな煙とともに香りが漂い、清々しさ、深み、強さなど、さまざまな要素が感じられます。

消えてもしばらく香りが残りますから、玄関や客間で焚いて、お客様をお迎えるのもいいでしょう。

編集後記

沈丁花という名前は、香木の「沈香」と、スパイスの「丁子」からきているそうです。それほど素晴らしい香りをもつ花ですが、残念なことに、精油をとるのは難しいと聞きました。

そこで、雰囲気だけでもお楽しみいただけますように、サロンにて丁子の精油をご用意しています。ちょっと個性的な香りは、柑橘系とブレンドするとよくなじみます。ご予約の際は、ぜひお試しください。